

施策分析シート（平成20年度）

No1

施策名	介護予防の推進	施策No	02-02	部課名	福祉部 高齢者福祉課		
				課長名	大内 和彦 内線 2660		
関連部課名							
行政評価	分野	生涯健康都市 []					
事業体系	政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成 [0 2]					
目的	運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等を目的とした介護予防のための諸施策を推進し、高齢者がいつまでも健康で生きがいをもって、住み慣れた地域の中で日常生活を送れることを目的とする。						
指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (28年度)	
	健康推進リーダー活動者数	180	210	177	190	280	荒川ころばん体操・荒川せらばん体操、おたっしランチ等の合計（重複あり）
	高齢者会食サービス（おたっしランチ・おげんきランチ）参加者数	1,305	3,756	5,918	6,500	6,500	延べ参加者数
	荒川ころばん体操参加者数	44,000	54,753	55,559	60,000	80,000	延べ参加者数（17実績精査）
	口腔保健教室・講演会参加者数	-	1,873	952	2,050	2,500	延べ参加者数
認知症予防活動グループ数	7	9	8	9	15	自主活動をしているグループ	
現状と課題（指標分析）	○高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして平成12年4月にスタートした介護保険制度が改正され、平成18年4月から改正法が施行された。この改正によって、「予防重視型システムへの転換」が図られ、介護予防への取り組みがより一層重要になってきている。 ○平成18年度の荒川区介護予防懇談会の検討結果においても、今後さらに高齢化が進行し、また、要介護高齢者が増加することが予測される状況を勘案し、なお一層、質・量ともに介護予防事業を推進していく必要があるとされている。 要支援者・要介護者を除くすべての高齢者を対象として、平成20年度から、これまでの基本検診に替えて実施される特定健診等にあわせて介護予防健診（生活機能評価）を実施することとなり、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれの高い高齢者）を早期に発見することにより、介護予防をさらに充実させてゆくこととされている。						
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 「介護予防のまちづくり」について検討を行ってきた荒川区介護予防懇談会において示された介護予防の具体的方策について、積極的に取り組んでゆく。 介護予防事業を、質・量ともにさらに充実させるとともに、実施会場の拡大を図ること等により地域のネットワークづくりを推進することによって、区が実施する介護予防事業に特定高齢者等が気軽にかつ積極的に参加して、互いに励ましあいながら継続していけるような仕組みづくりを進める。 介護予防健診（生活機能評価）の結果特定高齢者とされた方等に対し、地域包括支援センター等とも連携して、介護予防事業への参加を積極的に促進する。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	高齢化のさらなる進行や要介護高齢者が増加することが予想されることに鑑み、なお一層の介護予防の強化・充実への取り組みが重要である。

施策分析シート（平成20年度）

No2

施策を構成する事務事業の優先度						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		18年度	19年度	前年度 設定	今年度 設定	
高齢者等配食見守りサービス事業費	06-03-36	7,693	8,453	継続	継続	低栄養予防や見守りが必要な高齢者の増加が予想されることから、実施方法については検討の必要がある。
生活機能評価事業（介護予防健診）	06-03-37	-	-	-	重点的に推進	特定高齢者の決定を適切に行い、特定高齢者が自ら意欲的に介護予防に取り組めるようにする仕組みづくりが求められている。
尿失禁予防教室・講演会	06-03-38	51	51	推進	継続	尿失禁は閉じこもりの誘因になりやすいため継続して実施する。
口腔保健教室・講演会	06-03-39	877	1,114	推進	推進	咀嚼力の低下を早期に発見し、食の機能の維持向上を図る。
荒川ころばん体操	06-03-40	1,401	4,272	重点的に推進	重点的に推進	介護予防の周知を図るため、ころばん体操の一層の普及を推進する。
荒川せらばん体操	06-03-41	5,702	335	重点的に推進	推進	虚弱高齢者の身体機能の向上を図る。
ふれあい健康教室	06-03-42	894	884	推進	推進	高齢者の閉じこもり防止のため、より身近な場所を実施する。
学校給食を活用した会食サービス事業（おたっしランチ）	06-03-43	3,043	4,649	重点的に推進	重点的に推進	高齢者の閉じこもり予防や栄養改善を図れるとともに、運動機能向上の効果も期待できる。
高齢者施設を活用した高齢者会食サービス事業（おげんきランチ）	06-03-44	3,185	3,778	重点的に推進	重点的に推進	高齢者の閉じこもり予防や栄養改善を図ることができる。
認知症予防教室・講演会	06-03-45	231	305	重点的に推進	重点的に推進	認知症予防及び認知症高齢者に対する正しい理解についての普及啓発を図る。
低栄養予防教室・講演会	06-03-46	471	320	推進	重点的に推進	高齢者が生き生きと生活してゆくためには、低栄養のリスクを早期に発見し食生活の改善を図ることが重要である。
健康推進リーダー育成	06-03-47	502	599	重点的に推進	重点的に推進	介護予防事業を広く展開していくうえで必要性が高い。
出張健康相談	06-03-48	797	797	継続	継続	現状の規模で実施する
認知症キャラバン・メイト	06-03-49	-	-	-	重点的に推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症を正しく理解し、認知症高齢者や家族を支援していく地域づくりに貢献できる。 ・ 高齢化の進展に伴い、認知症高齢者が急増していることから、認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくりは急務である。
合 計		24,847	25,557			